

## 地方創生は胸をワクワクさせるもの

地方創生は、東京一極集中を是正し、地方を活性化し、日本全体の活力向上を目指している。だが、交付金支給や政府機関の地方移転といった東京からの視点だけでは解決しない。各地域の住民や企業、自らの創意工夫が重要だ。一例として、当社の林業への取り組みを紹介する。

当社は石川県、石川県森林組合連合会と2014年、林業活性化プロジェクトを始めた。森林整備による災害防止、美しい自然や里山の維持、間伐材販売を原資にした森林育成と植林促進が狙いだ。

まず現場に行くことから始めた。私も、雨の日、長靴に履き替えて薄暗い山奥に入った。急峻<sup>きゆうしゅん</sup>ですべりやすい斜面では40歳前後の作業員が木を伐採し、枝を払い、林道まで下ろしていた。森林の材積量も手計算だ。そこで「山の見える化」や機械化・自動化を、ドローンによる空撮画像解析や最新林業機械導入で始めた。これで作業も楽になり安全も確保される。

間伐材の利用で苦労したのはボイラー開発だった。木は切った後も生きていくらしく、湿気の多い北陸の冬には、チップが空気中の水分を吸収し、燃焼が悪くなるのである。

これは、余熱によるチップ乾燥で解決した。そして熱効率向上だ。社内技術を駆使し、発電に加え、蒸気圧は圧縮空気として工場の動力に、低圧排蒸気は冷暖房・塗装乾燥熱源に利用することで、最終的に70%にまで高めることができた。今では、自らライトバンで間伐材をチップ工場に持ってくる山主さんも増えた。当社工場には「木の香り」を漂わせ、チップ燃料を乗せたトレーラーが毎日入ってくる。加賀の山はますますきれいになっていく。

ところでチップパ(木材チップ製造機)だが、従来の外国製機械は高額でサービスも良くなかった。これではチップのコストが高くなり、持続可能な林業にならない。そこで、かが森林組合と、間伐材の種類や大きさ、処理量に合わせた設備の仕様、目標コスト設定をした。これを地元出身の65歳の当社技術者が一つずつ解決してくれた。最終的に、ドラム式切削チップパを開発・製造したのが地元企業だった。高性能にもかかわらず、原価の約3割の低減にも成功した。

地方創生には、未来志向の作業にかかわってもらうのが一番だ。参加者は皆、笑顔だ。新しいことを生み出すという業務は胸がワクワクするものである。



副代表幹事  
地方における新事業創造 PT 委員長  
**野路 國夫**  
コマツ  
取締役会長

No.806 March 2018

# 経済同友

# 3

### C O N T E N T S

#### 大特集

## 平昌から東京へ 今ここにあるアスナビ

オリパラ支援の意義 企業×選手=∞ 03

#### 特集1

誌上対談 アスリート支援で得られるもの  
企業と選手のWin-Winな関係を考える  
志岐 隆史/経済同友会 東京オリンピック・パラリンピック  
2020委員会副委員長 × 荒木田 裕子/JOC理事 04

#### 特集2

私たち、働いています!  
アスナビ採用アスリート社員のいま 09

#### 特集3

私たち、支援を待っています!  
アスナビ説明会を開催 14

#### Close-up 提言

環境・資源エネルギー委員会【提言】  
石村 和彦 委員長  
カーボンフットプリントの活用で  
温室効果ガス排出削減への道筋を 16

#### Seminar

第1297回 会員セミナー  
次世代自動車の技術と普及に関する将来展望  
～2030年から2050年を見据えて～  
大聖 泰弘 氏  
早稲田大学 研究院 次世代自動車研究機構 特任研究教授(名誉教授) 18  
第166回 TCERセミナー  
女性のキャリア形成と家族形成  
永瀬 伸子 氏 お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系 教授 19

#### Column

巻頭言 野路 國夫  
「地方創生は胸をワクワクさせるもの」 02  
リレートーク 廣渡 嘉秀  
「ベンチャー厚遇の時代を迎えて」 20  
メールボックス 浜谷 英一  
「東北の魅力」 21  
私の思い出写真館 奥谷 禮子  
「起業家精神」 23  
新入会員紹介 22  
ダボス会議で記者会見、小林代表幹事ら4会員 22  
吉野復興大臣が来会、意見交換 22

今月の表紙: シリーズ世界の花  
【スミレ】  
日本列島や中国東北部、朝鮮半島が原産地といわれている花です。4～5月頃、日当たりの良い草地や田畑の脇などで紫、白、ピンクなどの可憐な花を咲かせます。